

新基地建設反対名護共同センターニュース

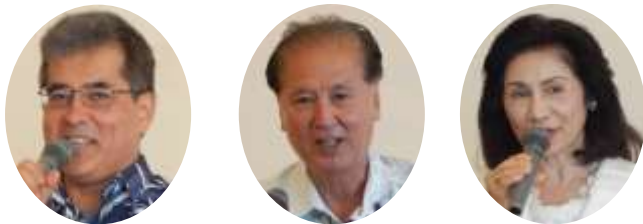
安里島ぐるみの会が「高良・糸数さん励ます会」



那覇市の「安里・大道・松川島ぐるみの会」は1日、那覇市内で「高良鉄美参院議員、糸数慶子さんの激励と国会報告のつどい」を約50人の参加で開催しました。糸数さんは参院議員活動を振り返り、新基地問題も「動けば変わる！」と報告。高良参院議員（写真左）は「糸数さんの議席を引き継ぎ、沖縄県民の思いを安倍政権に突き付け、新基地建設や憲法改悪を阻止する」と決意を表明しました。

「オール沖縄」が市民と野党共闘の源流に
「命どう宝、未来をひらく うまんちゅの会」共同代表の渡久地修県議が、日米地位協定の問題点を報告しました。この中で渡久地氏は、「沖縄県民のたたかいは決して孤立していない。現場の座り込み、草の根でのスタンディング、選挙戦などで安倍政権を追い詰めている。オール沖縄が源流となって参院選10選挙区で市民と野党共闘が自民党に勝利したことは、今後のたたかひへの大きな一歩であり、決定的な力になる」と報告しました。参院選東京選挙区にれいわ新撰組から立候補し、善戦した創価学会員の野原善正さんが挨拶しました。

現場の座り込み、草の根のスタンディング、選挙戦など
県民のたたかひが政府を追い詰めている



野原氏

渡久地県議

糸数氏



「安里・大道・松川 島ぐるみの会」は9月2日早朝、161回目のスタンディングを安里十字路で行いました。2016年9月12日から始めたスタンディングは今月で3周年を迎えました。この日は糸数慶子前参院議員、渡久地修県議を含む31人が参加、「県民は決してあきらめない」など思い思いのパネルを掲げドライバーや通行人に訴えました。

へり基地反対協が定期総会開く

抗議行動強め新基地建設を必ず阻止を！

へり基地反対協議会は8月30日、名護市内で定期総会を開催、加盟団体から約30人が参加しました。安次富浩共同代表は、「この間、翁長前知事の急逝を受け、知事選はじめ県民投票や各種選挙戦で辺野古新基地反対の民意を示してきた。しかし、安倍政権は不当にも工事を強行し、たたかいは正念場を迎えている。いっそう現場の闘いは重要になっている」と主催者挨拶。仲本興真事務局長が経過報告と活動方針を提案しました。

安次富代表、仲本事務局長を再選

総会では、活動方針など全議案が満場一致で採択され、新たな次の役員体制を確認しました。共同代表・安次富浩（1坪反戦）、事務局長・仲本興真（民商）、事務局長次長・仲村善幸、東恩納琢磨、吉居俊平（次長の3氏はいずれも名護市議）。

幹事には医療生協、平和委員会、民商、連合北部支部、北部地区労、二見以北10区の会から選出しました。顧問には具志堅徹前県議が就任。（写真は具志堅顧問の音頭で「頑張ろう三唱」する総会参加者）



ゲート前警備員配備2メートル後退を へり基地反対協が防衛局に申し入れ



へり基地反対協の仲本興真事務局長（写真中央）らは8月30日、辺野古座り込みをめぐる沖繩防衛局に「警備員を2メートル後退させるよう」申し入れました。仲本氏は、「防衛局が座り込む現場を狭めたため、市民が国道329号線に押し出され、人命の安全上の問題が発生している。警備員の隊列を2メートル側に寄せるスペースは十分にある」と求めました。対応した同局調達部の梅谷晋平課長補佐は「皆さんにも表現の自由があると思うが、要望には応えられない」と返答しました。